

平成28年5月 データから見た業界の動き

■ 概 況

平成28年5月の山梨県内の全業種のD I値（前年同月）は、売上高と景況感是不変だが、収益状況だけが10ポイント悪化している。

前月比で比較すると売上高8ポイント、収益状況は2ポイント、景況感4ポイント全ての項目で悪化した。非製造業では前月比の売上高10ポイント、収益状況7ポイント、景況感4ポイントと3ヶ月連続で悪化した。

製造業は、長期化する中国経済の減速や円高等を要因とした輸出減による受注の減少、大手自動車メーカーによる燃費データ不正問題による生産システムの停止等の影響もでており厳しい経営状況に陥っている。

また、非製造業は、先行き不透明な経済情勢等により消費者マインドが更に低下している。

今後、マイナス金利政策の効果が徐々に住宅投資や設備投資に波及することを期待したいが、円高や熊本地震の影響による生産の縮小、訪日旅行客の減少等のマイナス要因により、景気の停滞感が強まることが懸念される。

■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

● 製 造 業

食料品（水産物加工）	ギフト関係は低調だが、ホテル・レストラン等向けの生食材が前年同月比230%と好調のため、全体の売上は前年同月比115%。
食料品（洋菓子製造）	自社製品の量販店や専門店向けは低調、円高により輸出も不振だったが、OEMが好調のため全体の売上は99%。
食料品（菓子）	円高のため輸入原材料のコストを抑えられた。しかし、原材料は円安になるとすぐに値上がりするが、円高になってもすぐに値下がりしないため、円の変動がコスト減には結びつかない。
繊維・同製品（織物）	裏地の受注は、昨年度を下回っている。インテリア、ネクタイとも低調。雨傘の傘地は昨年並みだが、日傘は受注時期が遅くなっている。
繊維・同製品（アパレル）	全国的に売上は落ち込んでいるが、個人のオーダー品は上向き傾向。
窯業・土石（砂利）	年度初めは工事量がないため骨材需要が見込めない。公共工事がない地域は、厳しい経営状況。
窯業・土石（山採石）	平成27年度以後は、国の「経済対策等」の減少と山梨県からの公共工事の発注が少ない。低価格な骨材製品の需要は伸びているが、生コン用・アスファルト用の高価格製品の需要は少ない。
鉄鋼・金属	昨年より悪い状態が続き、全体的にも仕事量が減少。

一般機器	大手企業は増収傾向にあるが、中小企業の景気回復は不透明な状況。中国経済の減速や円高等を要因とした輸出減による受注減少が続き厳しい経営状況に陥っている。
電気機器	金属加工業は全体的に受注が減少しているが、特殊加工や高度な技術を持った企業は、受注量が安定。
宝飾(研磨)	5月は、稼働日数が少ないため売上が減少。
宝飾(貴金属)	売上は伸長しているが、原材料である地金代等が高騰しているため利益確保までは至らない。

● 非製造業

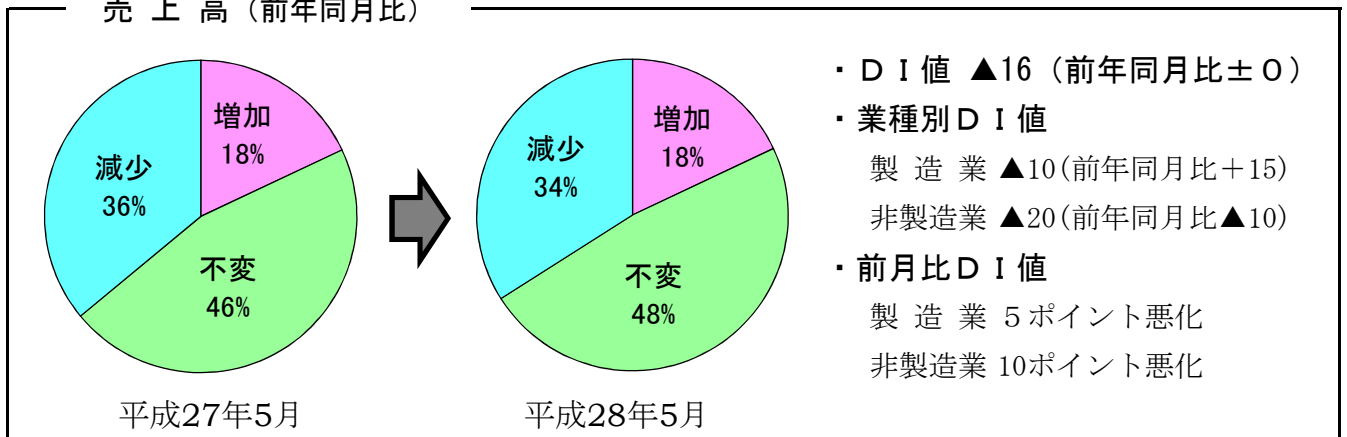
卸売(塗料)	先行きの見通しは悪化の兆し。
卸売(紙製品)	夏需要のため段ボール関係が値上がりしているが、供給は減少。
卸売(ジュエリー)	5月は稼働日数が少ないため例年低調だが、今年は更に悪い。国内流通は変わらず低調、中国経済の低迷により中国人バイヤーの購入も減少。
小売(青果)	高値で推移していた野菜・果実の入荷量が増加したため仕入価格が減少傾向にあるが、利幅がないため収益は悪化。
小売(食肉)	5月の前半はゴールデンウィークにより観光地を中心に消費が増えたが、後半は消費が減少。
小売(電機製品)	量販店の売上は対前年比2桁増となったが、地域店は前年を確保した程度。オリンピック年であるが、テレビ、冷蔵庫は減少、エアコンは好調の兆し。
宿泊業①	ゴールデンウィークに期待をしていたが、5月3日、4日の2日間が満室になった程度で、人の動きは少なかった。
宿泊業②	ゴールデンウィークの宿泊に期待したが及ばず先行き不透明。
美容業	美容院における低価格競争などにより繁盛店と暇な店の二極化が明確化し、来店頻度の長期化も重なり経営は厳しさを増している。
警備業	公共工事の前倒し発注や警備員の料金単価の改正などにより業況は好転。人材確保が深刻であり受注要望に応えられない状況。
建設業(総合)	5月の県内公共工事動向は、前年同月に比べ件数は不変だが請負金額は19%減少。累計では、前倒し発注の政策が要因と考えられるが、件数で4%、請負金額では10%増加。
建設業(型枠)	リーマンショックを上回る業況悪化が続いている。
建設業(鉄構)	県外物件への依存度が高く、県内の景気低迷の影響もあり稼働率が低下。
設備工事(管設備)	新設住宅の着工の減少により収益が悪化。
運輸(タクシー)	売上は、前年同月比20%減少。駅前広場等でイベントが開催されてもタクシー利用者は少ない。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

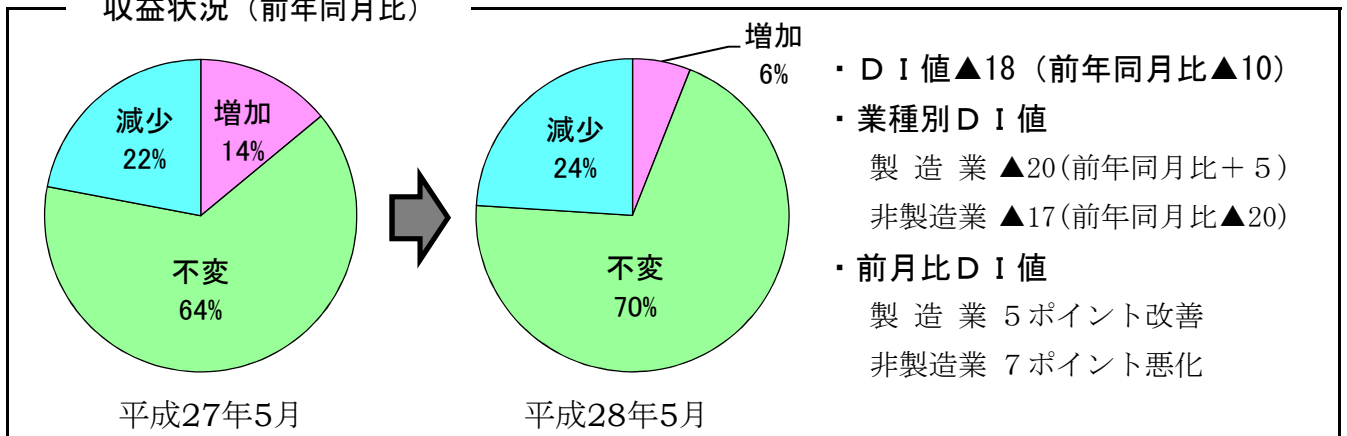
対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2015/5	2016/4	2016/5	2015/5	2016/4	2016/5	2015/5	2016/4	2016/5
売 上 高	-25	-5	-10	-10	-10	-20	-16	-8	-16
収 益 状 況	-25	-25	-20	3	-10	-17	-8	-16	-18
景 況 感	-20	-20	-25	-20	-13	-17	-20	-16	-20

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I 値

売 上 高 (前年同月比)



収 益 状 況 (前年同月比)



景 況 感 (前年同月比)

